

平成12年度 積算資料説明会

積算委員会

平成12年5月11、12日の両日、全国地質調査業協会連合会の矢島専務理事を講師迎え、山形県・秋田県の両県で発注機関を対象に平成10年度版全国標準積算資料の説明会を開催しました。

両県とも地質調査に対する関心度が高い様で山形会場で68名（一般参加を含めると、103名）秋田会場は105名（一般参加を含めると131名）の参加を頂きました。

参加者は仕事の参考にしようとして資料を片手に講師の話に耳を傾けておりました。

今回も前回宮城地区で行ったアンケート調査について、両県でも実施してみました。

実施頻度は2～3年に1回が望ましいとの回答が主流を占め、概ね協会の考えと相異が無いことが判りました。

また、協会に対する要望として「会計検査時に協会の資料で積算した旨、回答した場合会計検査をスムーズに通るのか?」「対象業務ごとの調査方法の流れが簡単に判るフローチャートの様な物が欲しい」などの意見が寄せられました。

これらのことは、東北地質調査業協会にて検討し全国地質調査業協会連合会に回答して頂くことも考えて行く必要があると思います。

今回の説明会に於いて、盛況の内に無事開催出来たことに対し、山形秋田両地区協会の皆様のご尽力に感謝したいと思います。



山形会場



秋田会場